

## Eiボード 機能改善版(Ver.18.20)のリリース

E i ボード機能改善版 (Ver.18.20) の発行についてご連絡いたします。

### 1. 発行プログラムと対象バージョン

発行プログラム	発行バージョン	バージョンアップの対象
E i ボード サーバー版	Ver.18.20	Ver.14.10 以降
E i ボード クライアント版	Ver.18.20	Ver.14.10 以降

※E i ボードのみのバージョンアップです。R4 データベースは変わりません。

### 2. 日程

#### 2-1.ダウンロード公開

2018 年 10 月 18 日 (木)

※ダウンロードマネージャー、会計システムマイページ、お役立ち Tools (クライアント版のみ) で公開します。

#### 2-2.CD提供

2018 年 10 月 18 日 (木) より発送開始

※「ネットワーク基本ライセンス(SV)」を保有、かつ R4 アプリケーションのいずれかで CD 保守契約を締結しているお客様に E i ボードのセットアップ CD を直送いたします。

### 3. 変更内容

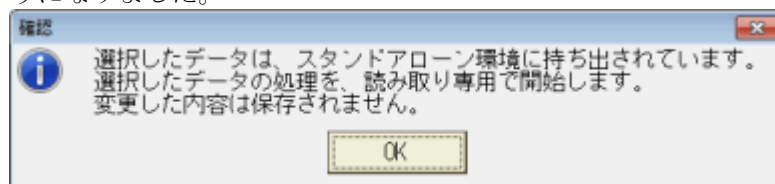
主な変更内容は以下の通りです。お客様向けの E i ボードインフォメーションでは、会社情報の修復、データベース環境設定の機能改善などについて、内容を絞って掲載いたします。

#### 3-1.機能改善

(アプリ共通) は、R4 アプリケーションのバージョン毎に対応済、または次回以降対応されます。

##### ■持出中データを読み取り専用モードでの起動(アプリ共通)

ネットワーク環境で、クライアント PC に持ち出し中のデータは、「選択したデータは、スタンドアローン環境に持ち出されています。」と表示されていましたが、「選択したデータの処理を、読み取り専用で開始します。」と表示して、読み取り専用でデータの確認ができるようになりました。



##### ■データ返却機能改善

スタンドアローンからサーバーにデータ返却するときに、スタンドアローン側の共通基本情報に紐づいているデータがなくなった場合は、スタンドアローン側の共通基本情報を削除するようにしました。共通基本情報にマイナンバーがある場合は、一緒に削除されます。



#### ■データベースサーバー環境設定の機能改善

- ・データベースサーバー環境設定画面を開くときに、共通 DB に破損があったら修復を行うようにしました。
  - ・サーバーの IP アドレスが変更された場合、データベースサーバー環境設定画面で「確定」をクリックすると、E i ボードサーバー版の IP の設定が変更されるように対応しました。
  - ・データベースサーバー環境設定画面で「確定」をクリックしたときに、マイナンバーDB、アクセスログ DB 顧問先情報の DB、ファイリング DB の破損があったら、DB の修復を行うようにしました。
  - ・共通データベースの「移動」を実行したときに、エラーが発生した場合は、移動したファイルを元に戻すようにしました。
  - ・共通データベースの「移動」を実行したときに、顧問先情報の DB も一緒に移動して、デフォルト格納先フォルダーも変更するようにしました。
- (※詳細は、16XA047 の「R4 問い合わせ・トラブル対応事例」を更新)

#### ■Weplat(会計マイページ)に関する改善(2018 年 10 月 9 日より)

- ・貸与先でのプログラムのダウンロードが、保守契約していれば貸与直後から可能になりました。(従来は貸与しても保守開始日以降でないとできませんでした)
- ・紹介用商品の保有登録の同日に貸与した場合、即日貸与先でライセンスが取得可能になりました。(従来は、保有登録の翌日でないと貸与先でライセンス認証できませんでした)
- ・「データ共有サービス利用停止」のメールを、有償のデータ共有サービスか Weplat 特典のデータ共有サービスかを判定して関係する共有先に送信するようにしました。

#### ■その他の改善

- ・インターKX 財務会計 R4 の記帳倶楽部の会社管理ファイルを問い合わせウィザードで取得するようにしました。
- ・顧問先管理を利用している場合は、利用状況の「E i ボード」にログイン数を表示するため、利用状況の「アプリケーション」から「事務所管理 R4 (顧問先管理)」の行を削除しました。
- ・スタンドアローン環境のライセンス取得・返却画面で、全てのアプリケーションのチェックボックスを外して「実行」をクリックすると「取得数を入力してください。／返却数を入力してください。」と表示されていたため、「取得するアプリケーションを選択してください。／返却するアプリケーションを選択してください。」と表示するようにしました。(アプリ共通)
- ・ライセンス発行依頼書に、コンピューター名や利用者が自動で入力されない場合は「手書きで直接記入する」旨を追記しました。
- ・ライセンス返却申請書に、コンピューター名が自動で入力されない場合は、「未記入でも結構です」という旨を追記しました。
- ・ダウンロードファイルの URL 取得回数を減らして負荷を軽くしました。
- ・E i ボードサーバー版を新規にセットアップしたときのSentinel RMS Licence Managerのバージョンを新しくしました。(バージョンアップ時は変更ありません。)
- ・Windows10のアップデートの影響で、Windows起動時のE i ボードの自動起動が「要求されたクリップボード操作に成功しませんでした。」のエラーになる問題に対応しました。

### 3-2.障害対応

- ・ライセンスの持出・返却でエラーが発生した場合、クライアント側の持出ライセンスの情報の不正部分をクリアするようにしました。
- ・自動バックアップで「バックアップファイルのコピーに失敗しました」となって、\_ (アンダーバー) から始まるバックアップファイルが残ってしまう問題に対応しました。(アプリ共通)
- ・接続先をスタンドアローンに切り替えるときに、スタンドアローン側の別のユーザーを上書きする場合がある問題に対応しました。
- ・税務署設定、都道府県税事務所設定、市区町村役場設定で、郵便番号と住所 1 が未登録で「登録」をクリックすると、「アプリケーションでエラーが発生しました。」と表示されていたため、「未入力の項目があります。」のエラーに修正しました。

- ・会計事務所・税理士法人が 0 件の場合は、「税理士」の [追加] ボタンを常にグレーになるようにしました。
- ・会計事務所・税理時設定税務署設定で、別のクライアントで同じ処理をしていてデータが不整合となり、税理士の [貼付] ボタンをクリックしたときに「アプリケーションでエラーが発生しました。」と表示される場合があったため、「別の人がデータを変更したため、入力内容を保存できません。」と表示して次の操作を促すエラーに修正しました。
- ・データ移動画面で「共通マスター」にチェックをして、接続先切替を行った場合、共通マスターの「選択候補設定（よく使う語句区分／よく使う語句）」をコピーするようにしました。
- ・Google カレンダーの同期で、予定が多い場合に、E i ボードの起動が遅くなる問題に対応しました。
- ・お客様番号が未登録の状態で、E i ボードがダウンロード確認をした場合、ダウンロード一覧「成功」となっていましたが、「失敗」として扱うようにしました。

## 4. バージョンアップ時の注意点

### ■サーバーとクライアントのバージョンを合わせてください。

ネットワーク環境の場合、サーバーとクライアントの E i ボードのバージョンを合わせてお使いください。どちらを先にバージョンアップしても問題ありません。

以上、宜しくお願い致します。